



# 暮らし・コミュニティ

子育て支援や福祉サービス、防災対策などを充実させ、互いに支え合い、安心して暮らせる街を目指します。

**子育て** 保育定員を約2,000人増員  
53億5,500万円



認定こども園や私立保育園、小規模保育事業所の整備に対する費用の補助を引き続き実施。待機児童対策を一層進めていきます。

**ほかに** 幼児教育・保育の無償化  
※保護者の負担は49億1,100万円軽減の見込み

認可保育所・幼稚園などで、非課税世帯と3歳以上の子がいる世帯の保育料無償化を予定。認可外保育施設などでも一定の要件を満たす世帯の保育料を軽減します。

**防災** 地震や洪水に備える  
新規 2億200万円



まちづくりセンターや災害時に避難所となる小中学校に、停電に備えて小型発電機を設置。また、昨年度改訂した、大雨の際に危険な区域などを示した洪水ハザードマップを、7月末までに全世帯に配布します。

**子育て・福祉** 医療的なケアが必要な方への支援体制を整備  
新規・拡充<sup>※</sup> 3,200万円

一部の公立保育園などに看護師を試験的に配置し、日常的に医療的なケアが必要な子どもを支援。そのほか、障がいのある方の生活をサポートする事業所に対して、医療機器の購入費用などを補助します。

**福祉** 介護予防活動の推進に向けて支援体制を強化  
拡充 5億9,712万円

介護予防センターの専門職員を増やし、健康に暮らすための運動や食事を紹介する介護予防教室などを、より充実させて開催。住み慣れた地域で生き生きと暮らすための活動を応援します。



**除雪** 除雪の担い手減少に備えて作業を効率化・省力化  
拡充 215億1,252万円

市内で多く使われている2人乗りの除雪車両を、1人でも安全に運転や操作ができるように変更。人口減少や高齢化を見据えて、作業の担い手が減っても将来にわたって冬を安心・安全に過ごせる体制を整えます。

## 今年度の予算の特徴

昨年度以前から継続して行っている事業を中心にした **骨格予算!**

5月に就任する新市長が柔軟に政策を実施できるようにお金を残しつつ、福祉や経済、防災・減災など、生活に大きな影響を与える施策にかかる費用はしっかりと盛り込んでいます。

- 以前から継続している事業の費用を中心に計上して、**新市長の施策に使えるお金を20億円留保**
- 北海道胆振東部地震からの復旧・復興や子育て支援など、すぐに行う必要がある取り組みには重点的に配分



新市長の方針を反映させる「肉付け予算」は4月7日(日)の選挙後に編成するよ

## 札幌のお金の使い道

# 平成31年度予算を解説!

4月から市がお金をどのように使うかをまとめた、平成31年度予算が完成しました。今回の特集では、予算のポイントや具体的な取り組みを紹介。私たちの暮らしがどのように変わっていくのかを見ていきます。[詳細] 財政課 ☎211-2212

まずは全体像を確認!



広報さっぽろ キャラクター ギュウ太

予算は、市の1年の歳入(収入)と歳出(支出)の計画を示したもの

**歳入** 皆さんからの税金、国や北海道から交付されるお金、公共施設の使用料など

**歳出** 福祉や教育、除雪・排雪、道路や公園の整備にかかる費用など

市は3種類に分けてお金を管理しています

<b>一般会計 1兆193億円</b> 福祉や教育など、市の基本的な事業の会計	<b>特別会計 3,636億円</b> 国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別が必要な事業の会計	<b>企業会計 2,653億円</b> 地下鉄や水道など、料金収入で運営している事業の会計
--	---	--

### 一般会計の内訳

※かつこ内は前年度比 計数ごとに四捨五入しているため合計が一致しないことがあります

**歳入** 待機児童対策に関する費用が増えたことなどに伴い、国からの補助が増えて国庫支出金が123億円増加。また、北海道に代わり教職員給与を支払うようになったことによる税源移譲などで市税が87億円増えました。

1兆193億円(+77億円)		地方交付税 1,083億円(+78億円)	
市税 3,309億円(+87億円)	国庫支出金 2,364億円(+123億円)	市債 1,027億円(-110億円)	諸収入 895億円(-87億円)
			その他 1,515億円(-14億円)

**歳出** 待機児童対策に関する費用の増加などで保健福祉費が149億円増加。また、北海道胆振東部地震の災害復旧費などで土木費が26億円増えました。

1兆193億円(+77億円)		諸支費 845億円(+9億円)		教育費 460億円(-4億円)	
保健福祉費 3,963億円(+149億円)	職員費 1,577億円(+5億円)	土木費 1,058億円(+26億円)	公債費 875億円(+10億円)	経済費 774億円(-49億円)	その他 640億円(-69億円)

次のページから四つの分野に分けてお金の使い道を見ていくよ





## 低炭素社会・エネルギー転換

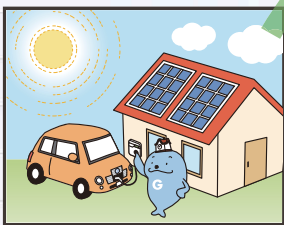
エネルギー効率が高い設備の導入を支援し、環境への負荷が少ない社会をつくります。

エネルギー

再生可能エネルギー機器などの導入費用の一部を補助

〔拡充〕 3億2,600万円

環境に優しく、停電時の非常用電源としても役立つ太陽光発電設備などの導入費用の一部を補助。本年度は電気自動車などを同時に購入した場合に補助を増額します。



交通

自転車の通行位置や公共駐輪場を整備

4億2,300万円



大通の西5丁目から西10丁目の車道に自転車の通行位置を表示。そのほか、中央区南2西3地区の再開発に合わせて地下駐輪場の整備を進めます。



◀自転車の通行位置を青色の矢印で表示



## 都市空間

活力にあふれ、人々を引きつける街を目指し、将来を見据えた再開発などを行うほか、災害に強くて安全・安心な街づくりを進めます。

再開発など

民間投資を活用して街の魅力を向上

34億800万円

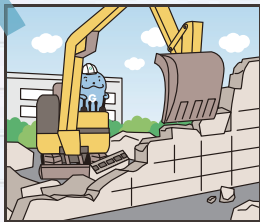


民間ビルの建築などの費用の一部補助し、再開発を促進。民間投資を呼び込みつつ、街の活性化につなげます。例えば、来年春に中央区北3西3に完成予定のビルは、地下歩行空間と直結し、駅前通の利便性が高まります。

防災

耐震化に向けた取り組みを支援

〔拡充〕 3億4,800万円



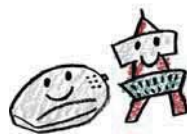
木造住宅の耐震化費用の補助のほか、要件を満たすブロック塀などの撤去費用の補助を新たに開始。地震発生時の被害を抑え、災害に負けない都市を目指します。

### より魅力的で安心して暮らせる街へ

これまで見てきたように、市ではさまざまな取り組みを計画的に進めています。誰もが安心して笑顔で生活できる街を、力を合わせてつくっていきましょう。



札幌のこれからが楽しみだね！



## 産業・活力

札幌の魅力を国内外へ発信するとともに、北海道経済の成長をけん引する街として、市内経済を活性化し、都市の活力を生み出します。

スポーツ

ラグビーワールドカップ2019™日本大会を札幌ドームで開催

6億200万円

9/21出、22日開催



TMO/Rugby World Cup Limited 2015. All rights reserved. ©JR2019. Photo by H.Nagaoka

アジアで初開催となるラグビーワールドカップを、国内12都市で開催します。札幌では、イングランドなど強豪チームによる注目の2試合を実施。世界中から多くの人を呼び込み、札幌の魅力を発信します。



スポーツ

冬季オリンピック・パラリンピック招致

6,900万円

2030年大会の招致に向けて、大会の運営計画を更新するほか、アスリートとも協力しながら、オリンピック・パラリンピックへの機運を高めています。



▲大倉山ジャンプ競技場でオリンピック・パラリンピックの出場選手が子どもたちにスポーツの魅力を伝える授業も開催

経済

街の元気につながる商品券を発行

〔新規〕 30億6,200万円

※財源は使い道指定して国から交付されています

住民税が非課税の世帯と3歳未満の子を育てる世帯が購入できるプレミアム付き商品券を発行。対象となる世帯には7月以降に順次、お知らせします。

観光

停電でも情報を配信できる総合案内板を新設

〔新規〕 4,500万円

観光施設の情報や交通機関の運行状況を多言語で配信する総合案内板を設置。非常用電源を備えており、災害発生時には随時、被害情報を伝えるとともに、状況に応じて避難を呼び掛けるなど、適切な行動を促します。

経済

企業を誘致して雇用を創出

〔拡充〕 9億6,000万円

本社機能の札幌への移転や、IT企業の新設などへの補助を拡大して企業を誘致。新たな雇用を生み出します。

## 市債の状況

国が負担するお金を一時的に肩代わりするための臨時財政対策債(臨財債)が増えていることなどにより、本年度の市債残高は増える見込みです。引き続き、将来に過度な負担を残さないよう、事業費の精査や効率的な事業の執行などにより、市債残高の抑制に努めていきます。

